〈平成28年省エネルギー基準対応〉　JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書（附属書）

自己適合宣言書番号	APSB001	附属書番号	APFB026-1
発行者の名称	YKK AP株式会社		
作成日	2026年8月7日	改訂日	2026年10月30日
商品	SYSTEMA710		
仕様	28mm溝幅		
窓種	・両袖片引き窓【外動タイプ】※縦骨連窓		

■本附属書について
・本附属書は、対応する自己適合宣言書とあわせてご使用ください。
・本書の記載内容は、製品の仕様変更等によって、予告なく修正する場合があります。あらかじめご了承ください。
　修正となった場合には、自己適合宣言書の更新によって公開いたしますので、常に最新の情報をご参照ください。

■開口部の熱貫流率について
・試験値は、JIS A 4710に基づく試験により測定された代表試験体の熱貫流率です。
・計算値は、JIS A 2102-1、JIS A 2102-2に基づいて計算された代表試験体の熱貫流率、
　または国立研究開発法人　建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の
　「熱貫流率及び線熱貫流率」に基づき計算された熱貫流率の値です。
　（JIS A 2102-1、JIS A 2102-2に基づいて計算する場合の線熱貫流率は、低放射膜がある二層又は三層グレージングの値を使用しています。）
・代表試験体は、国立研究開発法人　建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の
　「窓、ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲に定める基準」に基づき選定したものです。
・熱貫流率の異なる窓を連窓または段窓する場合は、国立研究開発法人　建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠した
　エネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「窓、ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲に定める基準」に基づき
　それぞれの部分ごとに評価し、最も劣る部分の性能をもって開口部全体の熱貫流率とすることができます。

■開口部の日射熱取得率について
・国立研究開発法人　建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の
「日射熱取得率」に基づき計算された日射熱取得率の値です。

■開口部の熱貫流率　性能一覧

アルミスペーサー仕様

※ガラス中央部の熱貫流率 [W/(㎡･K)]		断熱性能等級（相当）	窓の熱貫流率 [W/(㎡･K)]	開口部の熱貫流率[W/(㎡･K)] 付属部材なし	シャッター又は雨戸あり	※障子あり	風除室あり	試験値	計算値
1.9	以下	H-4	2.69	2.69	2.41	2.26	2.12		○
2.0	以下		2.77	2.77	2.47	2.31	2.17		○
2.1	以下		2.85	2.85	2.54	2.37	2.22		○
2.2	以下		2.93	2.93	2.60	2.43	2.27		○
2.3	以下	H-3	3.01	3.01	2.67	2.49	2.32		○
2.4	以下		3.09	3.09	2.73	2.54	2.37		○
2.5	以下		3.17	3.17	2.79	2.60	2.41		○
2.6	以下		3.25	3.25	2.86	2.66	2.46		○
2.7	以下		3.34	3.34	2.93	2.72	2.51		○
2.8	以下		3.42	3.42	2.99	2.77	2.55		○
2.9	以下		3.50	3.50	3.05	2.83	2.60		○
3.0	以下	H-2	3.58	3.58	3.11	2.88	2.64		○
3.1	以下		3.66	3.66	3.17	2.94	2.68		○
3.2	以下		3.74	3.74	3.24	2.99	2.73		○
3.3	以下		3.82	3.82	3.30	3.05	2.77		○

※商品、仕様、窓種ごとに使用可能ガラスが異なります。　　※障子は和障子などを示す。

■開口部の日射熱取得率　性能一覧

		付属部材なし	和障子	内付けの日射遮蔽部材（和障子を除く）	外付けの日射遮蔽部材
Low-E複層ガラス	日射取得型※	0.51	0.30	0.38	0.12
	日射遮蔽型※	0.32	0.21	0.25	0.09
一般複層ガラス		0.63	0.30	0.46	0.14

※ガラスの日射熱取得率の値が0.5 以上のものが「日射取得型」、0.5 未満のものが「日射遮蔽型」となります。
　ガラスの日射熱取得率は、ガラスメーカーに確認が必要となります。